

「地域福祉」に関するアンケート

～ご協力のお願い～

皆様におかれましては、日頃から市政の運営に格別のご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

現在、草津市では、草津市社会福祉協議会をはじめ皆様と共に、みんなで地域社会を支え合いながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちの実現をめざして、福祉の総合的な取組を推進しております。

このたび、福祉の総合的な取組やあり方を示す「第3期草津市地域福祉計画」の計画期間が今年度で終了することにもない、次期計画策定の基礎資料とするために、日頃から福祉活動に取り組んでいただいている皆様の福祉に関するお考えやご意見をおうかがいすることといたしました。

ご多用の折、誠に恐縮ではございますが、趣旨をご理解いただき、皆様のお考えやご意見をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

令和2年6月

草津市長 橋川 渉

- この調査は、まちづくり協議会関連団体、学区社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会、町内会、社会福祉関係団体などの関係者を対象に実施しています。
- 回収された調査内容は、計画策定に関する目的以外に使用することはありません。
- この調査は無記名のため、個人が特定されることはありません。

《ご記入に当たって》

- ご回答は、令和2年6月現在の状況を、各所属団体のお立場でご記入ください。
- それぞれの設問について、当てはまる番号に○をしてください。
- 「その他」を選ばれた場合や最終設問の「自由記述」については、お考えやご意見を記入してください。

ご記入いただいた調査票は、**令和2年7月3日（金）までに**
同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずにポストに投函してください。

《お問い合わせ先》

草津市健康福祉部 健康福祉政策課 健康福祉政策係

電話：077-561-2360 FAX：077-561-2482

メール：kenkofukushi@city.kusatsu.lg.jp

★「地域福祉」とは

「地域福祉」とは、一人ひとりが地域社会の一員であることを認識しつつ、助け合い・支え合いの精神のもとに安心して暮らせるよう、「自助」・「互助」・「共助」・「公助」を包括的に連動させ、地域の福祉課題の解決に取り組むことです。

■ 「自助」・「互助」・「共助」・「公助」について

「自助」とは

日常生活において、自分でできる範囲のことは自分でいき、住民一人ひとりが豊かな生活を送るために努力すること。

「互助」とは

近隣の人との日頃の声かけや見守りをはじめ、ボランティアや住民組織での活動など、住民同士の助け合い・支え合い。

「共助」とは

介護保険、医療保険などの相互負担による社会保険制度を活用し、必要に応じて様々なサービスを受けること。

「公助」とは

税の負担による公的サービスのことで、高齢者・障害者・生活困窮者などの生活保障や権利擁護などのこと。

■ 求められる「地域福祉」の姿とは？

○ 少子高齢化や家族形態の変化にともない、一人ひとりが抱える生活課題も多様化しています。これらに対応するには、個人の努力や行政による福祉サービスだけでは不十分であり、地域で暮らす住民が身近にある様々な福祉ニーズに関心を寄せ、地域全体で課題の解決に取り組むことが求められています。

○ 社会構造や人々の暮らしの変化を踏まえ、制度・分野ごとの「縦割り」や「支え手」・「受け手」という関係を超えて、地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながり、持続可能な地域を創造していくことが必要です。

○ 「自助」・「互助」・「共助」・「公助」を、時代に即した形で有機的・総合的なネットワークとして結び付け、そのネットワークの力によって福祉課題を解決していくことが、求められる地域福祉の姿であると言えます。



1. あなた自身のことについて

問1 あなたの性別をお答えください。(1つに○) ※答えたくない場合は無回答で構いません。

1. 男性

2. 女性

問2 あなたの年齢(令和2年6月1日時点)をお答えください。(1つに○)

1. 18~29歳

2. 30~49歳

3. 50~64歳

4. 65~74歳

5. 75歳以上

問3 あなたが草津市内で行っている活動(所属)をお答えください。

(当てはまる番号すべてに○)

1. まちづくり協議会関連団体

2. 学区社会福祉協議会

3. 民生委員児童委員協議会

4. 町内会

5. 障害者関係団体

6. 介護サービス等福祉関係事業所

7. 子育て支援関係団体

8. ボランティア活動団体

9. その他()

問4 あなたのお住まいの地区(小学校区)をお答えください。(1つに○)

1. 志津小学校区

2. 志津南小学校区

3. 草津小学校区

4. 草津第二小学校区

5. 渋川小学校区

6. 矢倉小学校区

7. 老上小学校区

8. 老上西小学校区

9. 玉川小学校区

10. 南笠東小学校区

11. 山田小学校区

12. 笠縫小学校区

13. 笠縫東小学校区

14. 常盤小学校区

15. わからない ⇒町名を記入(町 丁目)

16. 草津市以外 ⇒自治体名()

↓
「草津市以外」にお住まいの方は、9ページ(問20)にお進みください。

問5 あなたは草津市でお住まいになって何年になりますか。(1つに○)

1. 5年未満

2. 5~10年未満

3. 10~20年未満

4. 20~30年未満

5. 30~40年未満

6. 40~50年未満

7. 50年以上

2. 地域とのかかわりについて

問 6 あなたの近所づきあいの程度はどのようなものですか。(1つに○)

1. 日常から親しくつきあいをしており、困ったときに助け合える
2. 立ち話などをする程度のつきあい
3. 会えばあいさつする程度のつきあい
4. 近所づきあいはほとんどしていない

問 7 お住まいの地域にどの程度の愛着を感じていますか。(1つに○)

1. とても愛着を感じている
2. どちらかというとな愛着を感じている
3. どちらかというとな愛着を感じていない
4. 愛着をまったく感じていない

問 8 お住まいの地域の住民活動において、住民相互のまとまり具合を、どのように感じていますか。(1つに○)

1. 大変まとまりがある
2. どちらかというとなまとまりがある
3. どちらかというとなまとまりがない
4. まったくまとまりがない

問 9 地域における助け合いや支え合いの活動を活発にするためには、どのようなことを充実すべきとお考えですか。(○は3つまで)

1. 家庭・学校・職場などで、助け合いや支え合いのこころを育むこと
2. 日頃から近所や地域で助け合える信頼関係を築くこと
3. 地域の人同士が交流できるイベントなどを、市や市社協が支援すること
4. 介護やボランティア活動の方法などの研修を、市や市社協が行うこと
5. 地域にボランティアなどの活動拠点や組織を整備すること
6. 若者や子育て世代が地域に住み、地域活動にも積極的に参加してくれること
7. 福祉に関する情報が住民に行き届くこと
8. その他 ()

問 1 0 近所や地域のつきあいやかかわりにおいて、困っている方がいれば手助けしたいと思うのは、次のうちどれですか。すでにされていることがあれば、それも選んでください。（当てはまる番号すべてに○）

1. 高齢者や障害者宅などのゴミ出しなど
2. 子育て家庭の子どもを一時的に預かること
3. 高齢者や一人暮らしの方などの話し相手や相談相手になること
4. 独居高齢者宅などへの日常の安否確認や見守り
5. 買い物の代行
6. 買い物や病院への送迎
7. その他（ ）
8. 特にない

問 1 1 近所や地域のつきあいやかかわりにおいて、特に求められていると感じられることは、次のうちどれですか。（当てはまる番号すべてに○）

1. 家事や身の回りのことを手伝うこと
2. 子どもを一時的に預かること
3. 話し相手や相談相手になること
4. 家庭内介護のサポートをすること
5. 日常の安否確認や見守りをすること
6. 買い物の代行をすること
7. 災害時の安否確認や手助けをすること
8. 買い物や病院への送迎をすること
9. その他（ ）
10. 特にない

3. 地域や福祉に関する参加状況やお考えについて

問 1 2 次の項目について、あなたの参加状況や活動状況をお答えください。

(当てはまる番号それぞれに○)

項目	よく している	時々 している	あまり していない	ほとんど していない
ア. 福祉に関する研修会やボランティア講座、セミナーなどへの参加	1	2	3	4
イ. 地域の福祉課題を話しあう会議や懇話会への参加	1	2	3	4
ウ. 小地域福祉活動 ^(※) への参加	1	2	3	4
エ. 地域住民に対する福祉活動への勧誘や情報の発信	1	2	3	4

※「小地域福祉活動」とは？

小地域（町内会等）を単位とするサロン活動や見守りなどの福祉活動のことです。

問 1 3 次の項目について、あなたはどのようにお考えですか。

(当てはまる番号それぞれに○)

項目	はい	いいえ	どちらでもない
ア. 日頃から、近所や地域で助け合いや支え合いを行うべきだと思う。	1	2	3
イ. 災害時や緊急時には、近所や地域で助け合いや支え合いを行うべきだと思う。	1	2	3
ウ. 地域への関心や参加意識を高めるため、地域の福祉課題や活動などの情報を共有すべきだと思う。	1	2	3
エ. 地域の福祉活動には、他人事ではなく「我が事」として積極的に参加すべきだと思う。	1	2	3

4. 災害への備えや災害時の対応について

問14 あなたは、地震や風水害、火災などの災害に対して、どのような備えを行っていますか。(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|---|---------------|
| 1. 家具などの転倒防止 | 2. 避難場所や経路の確認 |
| 3. 災害時に必要な食料・飲料の準備 | |
| 4. 災害時に必要な備品（ラジオ・懐中電灯・携帯コンロなど）の準備 | |
| 5. 地域の防災訓練などへ参加すること | |
| 6. 災害時の連絡方法や集合場所などを家族・親族で話しあうこと | |
| 7. 近所や地域における助け合いの方法や要配慮者 ^(※) を確認すること | |
| 8. 常日頃から、テレビ・新聞などで災害対策の情報を得ること | |
| 9. ハザードマップなどで居住地域がどれくらい危険なのかを確認すること | |
| 10. その他（ | ） |

※「要配慮者」とは？

高齢者、障害者、乳幼児、妊婦など、災害時において特に配慮を要する方のことです。

問15 あなた自身が災害にあわれたとき、主にだれ（どこ）を頼りにしますか。
(○は3つまで)

- | | | |
|------------------------|---------------|---|
| 1. 家族・親族 | 2. 近所の人 | |
| 3. 友人 | 4. 自治会などの地域組織 | |
| 5. 市役所 | 6. 市社会福祉協議会 | |
| 7. 消防署・消防団 | 8. その他（ | ） |
| 9. 頼りにする人や頼りにできるところはない | | |

問16 あなた自身が災害にあわれたとき、どのようなことを不安・心配に思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------|-------------------|
| 1. 家族・親族のこと | 2. 近所の人や友人のこと |
| 3. 近所の要配慮者のこと | 4. 発生した災害に関する情報 |
| 5. 避難所での生活 | 6. 所有する家・自動車・土地など |
| 7. 避難所などへの避難経路 | 8. 災害に対応できる知識 |
| 9. その他（ | ） |

5. 不安や悩み、相談先について

問 17 要介護者や生活困窮者などの方が、不安に思っている点や悩んでいる点はどこにあると思いますか。（当てはまる番号すべてに○）

- | | |
|----------------------|--------------------|
| 1. 日常の金銭管理（日用品の購入など） | 2. 身体的なこと（病気や障害など） |
| 3. 契約のこと（サービス利用など） | 4. 家や土地などの財産管理や処分 |
| 5. 相続や遺言 | 6. 自身や家族の介助・介護のこと |
| 7. 地域での人間関係 | 8. 仕事に関すること |
| 9. 子育てや教育のこと | 10. 日常の交通・移動手段のこと |
| 11. 経済的なこと（世帯の収入など） | |
| 12. その他（ | ） |
| 13. 特にない | |

問 18 悩みや不安があるとき、要介護者や生活困窮者などの方は、だれ（どこ）に相談すると思いますか。（当てはまる番号すべてに○）

- | | | |
|-------------------|----------------|--------------|
| 1. 家族・親族 | 2. 近所の人 | 3. 友人 |
| 4. 職場の人 | 5. 医師・看護師 | 6. 介護サービス事業所 |
| 7. 民生委員・児童委員 | 8. 市役所の相談窓口 | 9. 市社会福祉協議会 |
| 10. 保健センター | 11. 地域包括支援センター | |
| 12. その他（ | | ） |
| 13. 相談できる人や相談先はない | 14. 相談しない | |

問 19 あなたは、お住まいの地域について、どのようなことを不安・心配に思っていますか。（当てはまる番号すべてに○）

- | | |
|---------------------|------------------|
| 1. 地域の高齢化の進行 | 2. 交通・移動手段が不便なこと |
| 3. 町内会や地域活動への参加者の減少 | 4. 地域の担い手の育成 |
| 5. 近所や地域のつきあいの減少 | 6. 空き家の増加 |
| 7. 独居高齢者や高齢者のみ世帯の増加 | 8. 緊急・災害時の体制 |
| 9. 世代間交流の減少 | |
| 10. その他（ | ） |
| 11. 特にない | |

《問20からは、すべての方におうかがいします》

6. 福祉への関心や福祉活動について

問20 あなたは福祉のどの分野に関心がありますか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 子どもに関すること
2. 高齢者に関すること
3. 障害者（児）に関すること
4. 生活困窮者（就労や収入、住まいなどに困っていて支援が必要な人）に関すること
5. 上記「1.」～「4.」以外の支援を要する人に関すること
6. ボランティア活動に関すること
7. その他（ ）

【問20-1は問20で「6. ボランティア活動に関すること」に○を付けた方のみ】

問20-1 ボランティア活動に参加したいと思いますか。(1つに○)

1. 是非、参加したい
2. 友人などが一緒なら参加したい
3. 時間があれば参加したい
4. 参加しない
5. すでに参加している

問21 あなたが福祉に関する仕事や活動をするなかで、やりがいや楽しさを感じるのはどんなときですか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 誰かの助けになったと実感するとき
2. 誰かに喜んでもらえるとき
3. 誰かに頼られたり相談されたりするとき
4. 地域や団体の人と一緒に活動していると実感するとき
5. 地域や誰かの課題を解決できたと実感するとき
6. 地域や団体の人と目標に向かって努力しているとき
7. ひとつの仕事や活動をやり遂げたと実感するとき
8. その他（ ）
9. 特にない

問 2 2 あなたが福祉に関する仕事や活動をするなかで、困ることや苦勞することは何ですか。(当てはまる番号すべてに○)

1. 活動場所が少ない(ない)
2. 活動を進めていく上でのリーダーがいない
3. 活動に関して相談をする相手がいない
4. 活動に必要な研修・学習機会が少ない(ない)
5. 活動に必要な情報が少ない(ない)
6. 活動に必要な資金が足りない
7. 活動に参加するための交通手段がない
8. 住民の理解や協力が得られない
9. 所属する団体内での人間関係がうまくいかない
10. 活動がマンネリ化している
11. 活動の運営方法がうまくいかない
12. 他の団体との情報共有や連携が難しい
13. 継続的な福祉活動が難しい
14. その他()
15. 特にない

7. 福祉に関するしくみや制度について

問 2 3 次の名称や内容についてご存じですか。(当てはまる番号それぞれに○)

質問	名称も内容も知っている	名称は知っているが内容は知らない	名称も内容も知らない
ア. 地域包括ケアシステム	1	2	3
イ. 生活困窮者自立支援制度	1	2	3
ウ. 成年後見制度	1 ⇒ ※ 問 23-1 も ご回答ください	2	3
エ. 社会を明るくする運動	1 ⇒ ※ 問 23-2 も ご回答ください	2	3
オ. 地域共生社会	1 ⇒ ※ 問 23-3 も ご回答ください	2	3

【問23-1は問23「ウ。」で「1 名称も内容も知っている」に○を付けた方のみ】

問23-1 成年後見制度には主に法定後見制度と任意後見制度がありますが、
このうち「任意後見制度」があることを知っていますか。(1つに○)

- | | |
|----------|---------|
| 1. 知っている | 2. 知らない |
|----------|---------|

【問23-2は問23「エ。」で「1 名称も内容も知っている」に○を付けた方のみ】

問23-2 再犯防止のために、何が重要だと思いますか。
(当てはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 犯罪をした人を支援する相談窓口を充実すること |
| 2. 犯罪をした人が、仕事に就く機会を充実することや協力雇用主を増やすこと |
| 3. 犯罪をした人が、就業できるように学習支援や資格取得の支援を行うこと |
| 4. 犯罪を地域の問題として捉え、地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をすること |
| 5. 犯罪をした人が、刑期を終えた後などに住むことができる場所を提供すること |
| 6. 社会の一員としての自覚を高めるため、犯罪をした人にも地域活動やボランティア活動に参加してもらうこと |
| 7. 犯罪をした人への支援ネットワーク(病院、学校、福祉施設などの機関や民間団体で構成)を作ること |
| 8. 住民に対して、再犯防止について広報・啓発活動をすること |
| 9. その他() |
| 10. 特にない |

【問23-3は問23「オ。」で「1 名称も内容も知っている」に○を付けた方のみ】

問23-3 「地域共生社会」の実現に向けて、地域の様々な団体の連携をさらに深めたり活発にするために、必要な取組は何だと思いますか。
(当てはまる番号すべてに○)

- | |
|--|
| 1. 地域包括ケアシステムの推進・拡充 |
| 2. 共生型サービスの推進・拡充 |
| 3. 各地域における福祉に関する課題の共有 |
| 4. 本人・世帯の属性や状況にかかわらず受け止める「断らない相談支援体制」の構築 |
| 5. 本人・世帯の状態に合わせた就労支援、居住支援など、社会への参加支援 |
| 6. 多世代交流や多様な活躍の機会や役割を生み出す地域づくり・支援 |
| 7. 個人や世帯が抱える複雑で多様化した課題を制度の狭間に落とさない取組 |
| 8. その他() |
| 9. 特にない |

8. 福祉に関する施策全般について

問 2 4 みんなで地域社会を支え合いながら、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けられるまちを実現するために、どのような施策や取組が必要だとお考えですか。(当てはまる番号すべてに○)

- | | |
|--|------------------|
| 1. 在宅福祉サービスの充実 | 2. 施設サービスの充実 |
| 3. 相談窓口や相談員の充実 | 4. 福祉に関する情報提供の充実 |
| 5. ボランティアコーディネーターや生活支援コーディネーターなどの人員の拡充 | |
| 6. 手当や助成など、住民に対する経済的支援の充実 | |
| 7. 施設や交通機関などにおけるバリアフリーの推進 | |
| 8. 日常の交通や移動手段の確保 | |
| 9. 地域活動や福祉活動への公的支援の充実 | |
| 10. 地域活動や福祉活動を担う人材の育成 | |
| 11. 地域の方がどなたでも気軽に集い交流できる場の整備 | |
| 12. 健康づくりや生きがいづくりの場の提供 | |
| 13. 住民同士の活動や交流が活発になる施策や支援 | |
| 14. 福祉に関する教育や研修の場の提供 | |
| 15. 災害に備えた体制の整備と住民の防災意識を向上させる場の提供 | |
| 16. その他 (|) |
| 17. 特にない | |

問 2 5 「みんなが安心して暮らせるまちづくり」のためにはどのようなことが必要だと思いますか。あなたのお考えやご意見をご自由にお書きください。

アンケートへのご協力ありがとうございました。